第４回
蓄熱建材シンポジウムご案内

一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会
【ＪＰＣＭ】

高断熱・高気密の
その先に、一歩進んだ
蓄熱建材

建物の高断熱・高気密化が急速に進む中で、蓄熱建材を利用した更なる省エネルギー化と快適性向上に向けた様々な試みが始まっています。講演者の皆様には省エネルギーのトレンドや、蓄熱建材の効果をテーマにした実物件での活用や蓄熱建材の今後についてお話ししていただきます。

日　　時　**2020年2月3日（月）13:30～17:30（開場・受付 12:45～）**

場　　所　**東京都港区南港２-３-１３　品川フロントビル 会議室（地下1F）**
https://shinagawafront.com/access/

登録方法

事前登録制
参加無料

以下のE-mailにメールタイトル『蓄熱建材シンポジウム参加』でお送り下さい。（応募締切：2020年1月22日）

メール内に会社名・所属・役職・氏名・電話番号・メールアドレスを記載して下さい。
複数名のお申込みの場合は代表者以外の方については氏名・所属・役職を記載下さい。
※ 定員：250名、定員になり次第受付を終了させて頂きます。
※ ご記入いただきました情報は適切に管理いたします。本事業に係る連絡のみに利用し、皆さまのご承諾なく第三者に開示・提供はいたしません。

E-mail：yokoyama.masahiro.ms@m-chemical.co.jp

内　　容

●開会挨拶（13:30～13:40）
一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会
代表理事（会長） 大道 正人

◆講演①　（13:45～14:15）
「3省合同によるZEH推進状況と自家消費型ZEHの必要性について」
一般社団法人 ZEH推進協議会
代表理事　小山 貴史

◆講演②　（14:20～14:50）
「次世代省エネ基準における暖冷房負荷計算の現状と潜熱蓄熱材のWEB計算プログラム上の取り扱いについて」
国立研究開発法人　建築研究所
主席研究員　三浦 尚志

◆講演③　（14:55～15:30）
「住宅全館空調システムへの顕熱・潜熱蓄熱体の使用実例の紹介」
近畿大学 工学部 建築学科
教授　崔 軍

◆講演④　（15:45～16:25）
「エネルギー自立の未来 再生エネルギーと高断熱に続く蓄熱技術の重要性」
東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
准教授　前 真之
（一般社団法人日本潜熱蓄熱建材協会 理事）

◆講演⑤　（16:30～17:00）
「蓄熱建材の利用促進に向けた取り組み
－評価基盤の構築へ－」
一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会
理事　野末 佳伸

●質疑応答　（17:00～17:20）

●講評　（17:20～17:30）
経済産業省 資源エネルギー庁
課長補佐　田中 宏和

※講演テーマ及び講演者は、都合により変更となる場合がございます。
※シンポジウムの様子を撮影した写真を広告のためサイト等に掲載することがあります。もし、撮影および掲載を希望されない場合はシンポジウム当日に受付にお申し出ください。ご来場者の写真撮影は禁止です。

＜お問い合わせ＞
・一般社団法人 日本潜熱蓄熱建材協会　　ＵＲＬ：https://jpcm.jp/
事務局　担当：横山　０５０－３１７１－１４２６（直通）

【会場アクセス】

品川フロントビル 会議室（地下1F）

〒108-0075 東京都港区南港２-３-１３
https://shinagawafront.com/access/

電車でお越しの方
- 品川駅港南口より徒歩3分
- JR品川駅中央改札より徒歩5分
- 京急品川駅改札より徒歩8分

バスでお越しの方
- 高速バス・空港連絡バス「品川駅東口」下車徒歩約3分
- 都営バス「食肉市場前（東京都）」下車徒歩約3分

車でお越しの方
- 品川フロントビル駐車場：駐車料金 250円/30分（上限なし）
  営業時間 7:30～24:30（入庫23:00まで）